

【 農 業 委 員 】

■募集期間の中間における推薦及び募集の状況

- 受付総数5件
- 推薦を受けた者の数3人（内認定農業者等の数0人）
- 応募した者の数2人（内認定農業者等の数0人）

【参考】

- ・募集期間令和8年7月1日～7月31日
- ・募集人数17人
- ・集計日令和8年7月15日

■大田市農業委員会委員（団体推薦）

番号	推薦を受ける者（被推薦者）										推薦団体等					
	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者該当の有無	抱負	名称	代表者等	目的	構成員数	推薦する理由	農地利用最適化推進委員への推薦の有無
							営農類型	耕作面積								
1	武田 穰	男	61	農業	S59年3月 島根県立大田高等学校卒業 S63年3月 私立桃山学院大学経営学部卒業 H7年1月～H26年1月 (株)セラミカ協業組合 H26年8月～R6年12月 (株)丸惣 R7年4月～ 農事組合法人(やまべ)理事		水稻	田9ha	無	近年、増加の一途をたどる耕作放棄地。農地は負の遺産化している現実。耕作放棄地発生要因は、農業者の高齢化、後継者不足、先祖伝来の農地に対するこだわりなどがあります。農地利用最適化推進活動を活用して負の遺産耕作放棄地が宝の山となるように地域住民と共に活動します。	大代町連合自治会	代表 日向高弘	地域の住民との交流、防災・防犯	265人	候補者 武田穰氏は、地元産業石州瓦営業職を経て現在、農事組合法人(やまべ)耕作面積9haの理事、将来を嘱望される人材とし現場の作業はもちろん、過去の営業職等、経験を活かして独自の販売網を模索するなど若手のホープとして期待されています。衰退の一途をたどる中山間地域農業、我が大代町の実態見ると、昔ながらの農業を続けている地域は耕作放棄地が60～80%に達しています。農地有効利用、担い手の育成を図るための熱意など、我が地域の信頼できる候補者として推薦します。	無
2	杉本 勝徳	男	69	農業	S54年3月 拓殖大学政経学部経済学科卒業 S55年4月～H7年2月 大田市農業協同組合 H7年4月～H29年3月 石東農業共済組合 H30年2月～ 大田市農業委員 R5年4月～ 久利営農組合 理事		水稻 露地野菜	田90a 畑20a	無	地域農業の維持・発展に努めます。	久利まちづくり推進協議会	会長 高橋英輝	久利町全体が元気で住みよいまちを求めて	427人	農業協同組合、石見農業共済組合に永年勤続されて、農業や地域のことも精通されており指導力も抜群である。令和5年に設立された農事組合法人「久利営農組合」で進める農地の組織化や集約に欠かせない役割を担う方であることから、農業委員として推薦いたします。	無
3	三谷 薫	男	75	農業	H22年3月～ 農業に従事 H26年3月～ 静間用水組合長 H30年2月～ 大田市農業委員 H30年2月～ 営農組合「ゆめファームプラスワン」組合長 R2年5月～ 農事組合法人「かみしずま」理事		水稻 その他	田2,340a 畑3a	無	農作物の耕作に大型農機での作業が増加し、軟弱圃場田がより軟弱化し、作付困難状態で作付休止等が発生している。これを解消するため改良を推進し、作付けの安定化を図りたい。同時に遊休農物解消と発生防止に努めて参ります。	農事組合法人かみしずま	代表理事 川上節夫	組合員の農業生産について、協業を図ることにより生産性を向上させ利益を増進させること。	45人	被推薦者三谷薫氏は、長年にわたり農業に従事し、各種農業団体の役員を務め、リーダーとして地域農業の課題解決に取り組んできた。特に、農業委員に就任後は、遊休農地の解消に積極的に取り組んでいる。また、農家からの信頼も厚く、今後も活躍が期待できる人材である。これまでの様々な経歴を活かし、地域農業の牽引者として適任であり推薦します。	無

■大田市農業委員会委員（応募）

番号	応募者										
	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業 者等該当 の有無	応募理由	農地利用最 適化推進委 員への推薦 の有無
							営農類型	耕作面積			
1	中尾 祥子	女	47	自営業	H16年3月 H16年4月～ H27年10月 H29年6月 H30年1月 R元年度～ R元年6月 R元年7月 R2年7月～ R2年8月 R2年11月～ R5年2月 R6年2月～	鳥取大学大学院農学研究科卒業 農林水産省 三瓶そば推進協議会立上げ・事務局担当 なかお商会立上げ 鳥取大学非常勤講師（事業計画論等） 島根県農業経営・就農支援センター アドバイザー 三瓶米こだまネットワーク立ち上げ 事務局担当 JGAP指導員 さひめの棚田振興協議会立上げ アドバイザー 池田集落協定運営委員会 アドバイザー 島根県土地改良事業団体連合会理事 大田市農業委員			無	令和6年から農業委員をさせていただいております。この間、池田地区において、農林水産省の農村RMO推進事業を行い、農用地保全について、農業委員と事務局の両方の立場から取り組みを行ってきました。道半ばのことも多いため、引き続き農業委員として、池田地区の農業や農地について考える機会をつくり、農地維持に向けた取り組みを進めてまいりたいと考えており、応募させていただくこととしました。	無
2	藤間 友章	男	52	無職	H8年3月 H8年4月～ R8年3月	中京大学法学部卒業 旧仁摩町役場 入庁 大田市役所 退職			無	令和8年9月1日に行政書士として登録予定であり、中立委員として応募いたします。 大田市役所在職中は、農地転用の担当者でもあり、その知見を活かして総会で農地法の趣旨に基づき公正・公平な審議に臨みたいと思います。 また、後継者不足等により年々増加する耕作放棄地を少しでも減少させるべく、行政書士として、まずは農地を守ることを前提として、地域における農地相談、あっせん等を促していきたいと考えています。	無